

# 環境月間 BOPデザイン 特別シンポジウム 「世界をそして日本も変えるBOPデザイン」(最終案)

～持続可能な社会の構築にもいさせるBOPデザイン～

平成23年3月31日(第1案)

平成23年4月11日(第2案)

平成23年4月12日(第3案)

平成23年4月18日(最終案)、25日(最終案改訂)

アジア太平洋トレードセンター株式会社

## ■ 1. 開催目的

### ■ ①次世代を担うデザイナー育成のため

特に次世代を担うデザイナーに対して、デザインという行為を用いて、広くさまざまな問題を解決しようという「広義のデザイン」の啓蒙し、デザイナーにとって新しいデザインビジネスチャンスを創出するため。

### ■ ②新しい企業の社会的責任のあり方を提案するため

特に企業関係者に対して、デザインを活用した企業の社会的責任、持続可能性のある社会の実現、人間性の豊かな社会の実現を提案するため。

### ■ ③産業の成長に寄与するため

政府が定める「クールジャパン」戦略におけるデザインビジネスの最新情報の提供を通じて、BOPデザインと関連ビジネスの振興を図るため。

### ■ ④新しい人道支援や雇用開発のあり方を提案するため

従来の途上国支援とは異なる、BOPデザインという手法を活用した、人道支援や雇用開発のあり方を提案するため。

※その他、BOPデザインの思想を応用した、震災復興対策についても提案。

## ■ 2. 講座名

BOPデザイン 特別シンポジウム「世界をそして日本も変えるBOPデザイン」  
～持続可能な社会の構築にもいさせるBOPデザイン～

## ■ 3. 主催

大阪デザイン振興プラザ(大阪市、アジア太平洋トレードセンター株式会社、財団法人大阪デザインセンター)

ATCグリーンエコプラザ実行委員会(大阪市、アジア太平洋トレードセンター株式会社、日本経済新聞社)

ATCグリーンエコプラザビジネス交流会

NPO法人エコデザインネットワーク

## ■ 4. 後援(予定)

財団法人大阪国際経済振興センター、財団法人アジア太平洋観光交流センター 他

## ■5. 協力

ATC輸入住宅促進センター  
ATCエイジレスセンター実行委員会

## ■6. 日時

平成23年6月24日(金) 13時30分～16時30分 定員100名(レセプション 16時40分～18時)

## ■7. 場所

- ①基調講演・・・大阪デザイン振興プラザ イベントスペース「多目的ルーム」
- ②パネルディスカッション・・・おおさかATCグリーンエコプラザ「ピオトーププラザ」

## ■8. 内容

### ■①基調講演(13時30分～14時00分 ODP多目的ルーム)

経済産業省製造産業局 クール・ジャパン室 室長補佐 高木 美香 氏  
「クリエイティビティと日本の復興、世界への貢献」

### ■②講演(14時00分～14時30分 ODP多目的ルーム)

日本ポリグル株式会社 代表取締役会長 小田 兼利 氏  
「BOPビジネス最前線～前例にとられるな～」

### ■③休憩・移動(14時30分～14時50分)

大阪デザイン振興プラザからおおさかATCグリーンエコプラザに移動

### ■④パネルディスカッション (14時50分～16時30分 ピオトーププラザ)

<ファシリテーター>

株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役 ムラタ・チアキ 氏(15分)  
(テーマ「広義のデザイン」とBOPデザイン)

<パネリスト>

(ア)パートナー 代表 サスティナブルデザイン国際会議 実行委員 酒井 良治 氏(15分)  
(テーマ「日本も変えるデザイン」～BOPデザインを日本で生かす～)

(イ)株式会社Granma 代表取締役社長 本村 拓人 氏(15分)

(テーマ「世界を変えるデザイン」～途上国支援の現場から～)

<討議:仮テーマ BOPデザインの可能性 (30分～) ※最大16時20分まで>

株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役 ムラタ・チアキ 氏  
経済産業省製造産業局 クール・ジャパン室 室長補佐 高木 美香 氏  
株式会社Granma 代表取締役社長 本村 拓人 氏  
サスティナブルデザイン国際会議 実行委員 酒井 良治 氏

### ■⑤会場からの質疑応答

※最長 16時30分には終了。

### ■⑥レセプション(公式交流会)

16時40分～18時00分

## ■⑦リード文

シンプルかつ機能的なデザインで、特に発展途上国の水・食料・環境・エネルギー・教育・医療・衛生など様々な課題を克服するために寄与する「BOPデザイン」は、発展途上国へ向けた政府開発援助のみならず、近年では企業のCSR活動やNGOの活動、さらには企業の本格的な海外事業にも利用され、BOPデザインの思想を応用することにより、今までにないまったく新しいデザインビジネスや、ものづくり、環境・インフラビジネスになる可能性を秘めています。

「世界をそして日本も変えるBOPデザイン」について、参加者とともに考えます。

## ■9. 告知

日本経済新聞 近畿版朝刊、大阪デザイン振興プラザ、ATCグリーンエコプラザ他 ホームページ、メールマガジン、FAX DM、大阪市・公共関連施設での告知、各種大学・専門学校への案内

※その他、関連団体に後援名義の申請の予定

以上